

北海道大会及び支部大会における 2023 年度版「感染予防対策」マニュアル

2023 年4月 20 日現在

2023 年度の北海道大会及び支部大会を開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月 8 日以降感染症法上の分類が 5 類に変更(引き下げ)になることから、これまで 3 年間取り組んできました「感染予防対策マニュアル」は原則廃止し、各個人が自主的な感染対策を講じてもらうこととなりますが、感染症自体が完全に終息したわけではなく、最低限、以下のことに留意することが必要となりますので、監督・選手はもとより、大会役員等関係者全員に周知の徹底をお願いします。大会運営にあたっては、引き続き、基本的な「感染予防対策」を講じながら、安心・安全な大会になるように努めて下さい。

【北海道大会】

全ての大会が、5 月 8 日以降の開催となるため、これまで取り組んできた感染予防対策は以下の事項を除き、基本的に解除します。

1. 監督会議及び開会式の開催の可否については、原則、開催支部の裁量に委ねることとするが、開催する場合は可能な限り簡素化に努めること。
2. 移動中や練習・試合でのマスク着用は、個人の判断に委ねることとする。但し、風邪症状(咳・鼻水・咽頭痛など)がある場合はマスクを着用すること。
マスク着用は、日頃から密になるような混雑した場所では感染から自身を守るための対策として効果的であることを認識し、着脱は個人で判断すること。
3. 大会会場内の消毒液の配置については原則不要だが、トイレについては衛生上からも配置が望ましい。また、手洗い場に石鹸を配置するよう心掛けること。
4. スペース的に「密」になり易い本部席等の役員・スタッフ・審判員は、できるだけ「マスク着用」を心がけて大会運営に臨むこと。また、本部席には、消毒液の設置や適時換気をするなど、最低限の感染予防対策は引き続き実施すること。
5. 感染者が出た場合は、これまでの「感染予防対策マニュアル」に準じて対応することになりますが、具体的な対応策について、大会本部で協議の上決定すること。
6. 代表チームのコロナ感染等により北海道大会を欠場した場合は、引き続き「特例措置」を適用し、次年度への出場停止などの「ペナルティー」は科しません。

【支部大会】

5 月7日までに支部大会を開催する場合は、これまで通りの感染対策を講じるように努めて下さい(参考資料:JSBB 感染予防対策ガイドライン 令和 5 年 3 月 16 日更新版)。5 月8日以降の大会については、前記「北海道大会」に準じた取り組みをお願いします。